

授業科目名： 国際政治の理論と方法			担当教員名： 畠山京子
選択/必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 後	開講言語： 日本語
ディプロマポリシーとの関連			
国際社会の知識		政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●		●	
○授業の到達目標及びテーマ 本授業の目的は、国際政治の理論と方法に関する基本的な知識を教授し、国際政治に関する 様々な研究を実施する能力を養うことである。			
○授業の概要 国際政治は複雑である。しかし理論的な枠組みを通して分析すれば、意外とシンプルでもある。国家行動の説明が可能となるだけでなく、将来行動の予測も可能となる。本コースでは、リアリズム、リベラリズム、構成主義、コンストラクティビズム、マルキシズムなどの様々な国際政治理論について、事例を使用して学ぶ。目的は、国際政治理論に対する知識を深めるだけでなく、論理的思考能力を養うことである。 ○授業の方法 毎回の授業では、パワーポイントを基に担当教員が講義を行い、さらにそれに基づいたディスカッションを実施する。受講生は下に示された文献に前もって目を通し、積極的に議論に参加することが求められる。 さらに受講生は3000字程度のターム・ペーパーを提出する。ターム・ペーパーのテーマは、担当教員が適宜指示をする。			
○授業計画 第1回 授業の紹介 第2回 古典的な国際政治（ウェストファリア体制） 第3回 分析レベル 第4回 古典的現実主義 第5回 ネオリアリズム 第6回 リベラリズム 第7回 ネオリベラリズム制度論 第8回 マルキシズム 第9回 従属論 第10回 世界システム論 第11回 構成主義 第12回 規範、アイデンティティ、アイディア 第13回 グローバルガバナンス（ゲスト講義） 第14回 政策決定論 第15回 まとめ			
○テキスト			

○参考書・参考資料等

大芝亮『国際政治理論』ミネルヴァ書房、2016など。その他については授業で紹介する。

○学生に対する評価

- 1) ディスカッションへの参加度：40%
- 2) ターム・ペーパー：60%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）